



こまくさ

令和4年
5月13日(金)
No.4

《教育目標》 ～夢に向かって やさしく! かしこく! たくましく!～

今年度の学校経営について

今年度がスタートして、約1ヶ月が過ぎました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策をとりながらの活動となりそうです。ご家庭においてもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度の学校経営の概要についてお知らせいたします。

【学校教育目標】

夢に向かって

やさしく! かしこく! たくましく!

【目指す学校像】

- ①さわやかで明るいあいさつが響き合う、子ども・職員にとって楽しい学校
- ②子どもたち一人一人が夢に向かってやさしく、かしこく、たくましく過ごすことができる学校
- ③学ぶ楽しさや分かる喜びのある授業が保障されている学校
- ④保護者・地域の願いを理解し、ともに地域を愛する子どもたちを育てていく学校

【目指す子ども像】

- ①思いやりのある心を持ち、仲間と力を合わせて明るく元気に生活する子ども (やさしく)
- ②めあてを持ち、主体的に課題や問題の解決に取り組み、「対話」を通して考えを深め合う子ども (かしこく)
- ③困難に立ち向かい克服しようとする、たくましい心と体をもつ子ども (たくましく)

【目指す教師像】

- ①子どもや保護者・来校者に明るくさわやかなあいさつを届けることができる教職員
- ②豊かな人間性と教育者としての責任と誇りをもつ教職員
- ③心身ともに健康で、教育愛にあふれ熱意をもって日々学び続ける教職員
- ④組織人として協調性を持ち、互いに磨き合い、高め合う教職員

【主な取組】

- 学力向上・職員研修等について
 - ・「だしの子学びのスタンダード」に基づいた学習スタイルと学習規律を確立します。
 - ・チャレンジタイム（掃除後）やチャレンジテストなどで基礎学力の定着を図ります。
 - ・毎日の朝読書に力を入れます。
 - ・家庭学習の充実に努めます。
 - ・ICTを活用した授業づくりのための研修を進めます。
 - ・効果的な「対話」を通して深い学びができるよう研修します。
- 連携について
 - ・だしのこ園と連携を深め、円滑な接続を目指します。
 - ・生保内中学校と連携を強め、行事等での合同実施、児童会・生徒会との共通実践、相互の授業参観などを積極的に行います。
 - ・「生小応援団」（地域の諸団体等）と連携をした活動を推進します。

【お願い】

- 新型コロナウイルス感染症予防対策として、ご来校の際には、職員の玄関からお入りになり、検温と消毒をお願いしております。ご協力ください。
- 今後の行事の開催、日程、時間などについては、感染状況を見ながら変更場合があります。御了承ください。



令和3年度 運動会予行の様子
2～6年生による「生保内節」の踊り

交通安全教室を実施

今年度も、連休前に交通安全教室を実施しました。4月28日(木)は天候にも恵まれ、外で各学年に応じた訓練をすることができました。1・2年生はグラウンドに交差点を作って歩行練習を、3～6年生はグラウンドや学校の周りの道路での自転車実技訓練をそれぞれ実施しました。この日は残念ながら5年生はお休みでしたが、その他の学年はたっぷり時間を使って練習することができました。



一般道での3・4年生自転車実技訓練
地域の方々のご協力のおかげで実施できます



6年生は滝沢方面の道路に出て訓練
道路の横断は押し渡りが約束です



1・2年生は横断歩道の正しい渡り方をおまわりさんから教えてもらいました



だしのご園の年長さんも参加してくれました



グラウンドにはS字コース、8の字コースなどを準備



3年生も正しい歩き方について教えてもらいました

1年生 入学から1ヶ月学校生活にも慣れてきました



こぼさずにお盆にご飯・味噌汁・おかずなどをのせて上手に運びます。チャイムの合図で次の活動の準備をしたり、時計を見ながらみんなと同じ行動をしたり…。今年はコロナ禍で6年生の応援が少ない中、少しずつ小学生らしくなった面が見られるようになっていきます。運動会でもそのような様子が見られるといいですね。

4月7日の入学式から約一ヶ月がたちました。はじめは緊張した毎日のようでしたが、小学校の生活にもだいぶ慣れてきました。園では45分間すわったままで勉強することはなかったでしょうからそれだけでも苦しかったかもしれません。今は、きちんとすわって先生の話聞き、元気に勉強をしています。それだけではなく、自分のことを自分ですることも増えてきています。



きちんと整頓されている
1年生の帽子や雨具掛け

夏季のマスク着用のあり方について

大型連休中に横手市の最高気温が30度を超えるなど、例年より極端に暑い日が多く感じられる季節です。これも地球温暖化の影響でしょうか。「新しい生活様式」の中、熱中症予防についても考えなければならなくなりました。子どもたちにはこれまで生活のほとんどの場面でマスク着用を指導してきましたが、新型コロナウイルス感染症ガイドラインに基づき、次のように指導していきます。

◎校内外では原則マスクは着用します。しかし、次のような場合には熱中症予防のためにマスクを外す場合もあります。

- ① 体育の時間(外での活動、密にならない) ※但し、準備運動時や説明を聞く活動等では着用する
- ② 校内外で気温・湿度・暑さ指数が高く、熱中症の恐れがあると感じた場合は、学級担任等が判断をし、間隔を保ちながら外すよう伝える。
- ③ 登下校中に息苦しさを感じた場合、自分で判断をして外す。(話をしない)